



<年頭所感>

2013年1月

「IP 軸戦略」を加速させ、中期計画で掲げた目標の1年でも早い達成を目指す

(株)バンダイナムコホールディングス

本社：東京都品川区東品川 4-5-15

東証一部：7832

2012年のバンダイナムコグループは、我々が持つあらゆる出口に様々な形でIPを発信しグループ内での横連動をはかる「IP軸戦略」が、特に国内事業において効果を発揮しました。

2013年は、国内では「IP軸戦略」を、グループ全体を巻き込み更に加速させ、スピーディかつダイナミックな事業展開を進めていきます。これにより、トップシェアを獲得できていないカテゴリーは、シェア拡大を目指すとともに、No. 1シェアのカテゴリーでは、バンダイナムコの強みを更に発揮してください。

2013年、グループが最も注力すべき課題は海外事業です。我々バンダイナムコグループは、あらゆる出口、あらゆる年齢層、あらゆる地域に「夢・遊び・感動」を提供し、「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」となることを目標にしています。そのためにも、海外事業の成長は不可欠です。中期戦略にのっとり施策を進めるとともに、グループ社員全員が考えるべき課題として、海外事業を意識して欲しいのです。IPや商品・サービス、そして仕事のやり方など、日々の仕事の中で、海外事業の成長につながるヒントが無いか常に考えてください。

バンダイナムコグループは、2012年4月に「挑戦・成長・進化」を中期ビジョンに掲げた3ヵ年の中期計画をスタートしました。この中期計画は、50年、100年とグループがエンターテインメントグループとして存続し続けるために、この3年間に取り組むべき戦略を推進しています。

エンターテインメント企業は、現状満足・現状維持の発想になったところで歩みが止まります。我々バンダイナムコグループは、エンターテインメント企業として成長し続けるためにも、「挑戦・成長・進化」の気持ちを忘れることなく、柔軟かつ大胆に仕事に取り組み、時代の先端を走らなければなりません。中期計画で掲げた過去最高売上・過去最高益の目標の、1年でも早い達成を目指し、2013年も「挑戦・成長・進化」し続けましょう。

(株)バンダイナムコホールディングス 代表取締役社長 石川祝男

※2013年1月7日にグループ社員向けに発信予定のメッセージの一部を抜粋しました。